

あいめーる

AUTUMN

令和元年 11月 15日発行 〒861-0551

発行 熊本市山鹿市津留 2022

社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771

障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793

発行責任者 三浦貴子 <http://aileans.com>

編集 広報チーム E-mail

キャリアページ ailinkan@magma.jp

愛隣館通信



写真：山鹿中学校太鼓部和太鼓演奏

法人ふれあい祭り

九月二十一日(土)午後五時から愛隣の家に於いて、社会福祉法人愛隣園ふれあい祭りが開催されました。

当日は、あいにく台風十七号の接近で安全対策のため舞台を愛隣の家食堂に変更。デイサービスには、ゆっくりと歓談や食事を楽しみながらステージの様子を観ることができると好評です。恒例のフリーマーケットや入居者が興味で作ったプロ顔負けのハーバリウム等の出店がありました。

舞台では、三浦一水理事長の挨拶に続き、山鹿中学校太鼓部の迫力ある和太鼓演奏でプログラムがスタート。愛隣館音楽クラブの合唱や各法人からの出し物があり、地域よりのバナナの叩売りやハワイアンダンスショーの披露と、大いに盛り上がりました。

お楽しみ抽選会では、番号が呼ばれる度に歓声が上がります。さん満面の笑みで賞品を手にとられました。

最後に、山鹿灯籠踊り保存会の皆さんによる、優雅で幻想的な山鹿灯籠踊りの披露がありました。

ハーバリウムを販売した後藤さんは「入居の洲上さんが、趣味で育てた花をドライフラワーにして、一部使いながら二人で作りました。地域の方々や外人さんが買って下さり嬉しかったです。」と話してくれました。

利用者と地域が一体となり、盛り上げる三岳地区のまつりとして、地域に根ざしたお祭りとなりました。





館長 三浦 貴子

十月八日から二十日までの十二日間、今年も二〇二五名の来覧者を数えて、展覧会が無事終わりました。二十六名の出展作家の皆様をはじめ、ご観覧頂いた皆様と、七四八名の感想をお寄せ下さった方々、そして運営協力に心から感謝申し上げます。

毎日様子を見に来て下さった、県立美術館の宮尾館長。会場受付を担当の延べ五十四名のボランティアの皆さんも、七障害者支援施設、熊本市、熊本県社会福祉協議会、熊本市シルバー人材センター、九州学院高校生など、連携の幅が広がって、心強く運営ができました。

作品の多様性が特徴と呼べるアール・ブリュット展の来場者までもが、ワールドカップラグビーの影響の下、多国籍の方々となりました。ご来場の約一割が海外からで、フランス、ウェールズ、アルゼンチン、UK、中国、香港等の方々から感想が残り、二〇一九年ならではの展覧会だったとみんなで喜んでいきます。

いくつかの感想をご紹介します。
毎年ご来覧頂く田嶋副知事「息をのむような作品に圧倒されました。みんなで応援しましょう!!」・中嶋山鹿市長「松本君の大作・新作良かったです。みなさん頑張ってください!!」
アルゼンチンから「アメージング・見ることができて良かった」
ウェールズから「アーカイブの多様性を促進する優

れたイメージ」

東京から「世界が広がって感じました。ありがとうございます」

その他「独りよがりでない特徴ある緻密さと配色が、コトバを

介さない人と人との「感覚」のやり取りにつながってる感じがしました。」

「山下清さんがこの会場に来たらシエラかも？」

運営を預かる私たちは、毎年ひとつひとつ課題を乗り越えながらの歩みですが、作家とご家族の喜びと、多くの方々の反応が支えとなっています。

最後に、キュレーターの眞武さん、インスタレーションの坂崎さん、本当にありがとうございます。

新しい仲間



開会式のテープカット 作家の皆様



デイケア

渡邊 洋子

皆さんこんにちは、渡邊洋子です。愛隣館デイケアに行く事になって今はとても楽しいです。出来

上がりがとても楽しみです。今までに作ったのは、箸置きとカリー皿、お盆を作りました。色を先生に掛けてもらって窯で焼いてもらいました。目が見えない時に作ったのですが、まあまあの上上がりでした。

目の手術をして見えるようになりました。今度はもっと上手に作りたいと思います。



入居者

元村 文美子

八月一日、愛隣館に入居した元村文美子です。

昭和三十七年七月十九日生まれ、寅年だけど、ぜんぜん怖くないです。いつもニコニコ笑っています。まだまだ、愛隣館の生活に慣れてない私に、入居者の方々や職員さんが優しく声をかけて下さるので安心して生活することができます。

これから、少しずつ日中活動や行事などに参加して楽しみたいと思います。

皆さん、よろしくお願ひします。

(代筆：草野晴海)

新人職員紹介



ケア課

岩村 有樹 なほき

八月より愛隣館一号館の生活支援員として勤務させて頂いております岩村有樹と申します。

障害者施設での勤務は初めてで、皆さんに助けて頂く事も多々あるかと思いますが、優しく声を掛けて下さったり、親切に接して頂けるので安心して働く事が出来ております。有り難うございます。

私はこれまで高齢者施設に勤めており、「丁寧なケア」「傾聴・共感」を心掛けて参りました。皆さん仲が良く、挨拶も元気で気持ちの良い愛隣館で、これまでの心掛けをモットーと一緒に楽しい時間を過ごせるよう新たな経験を積んで頑張つて行きたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



生活支援員（法人研修生）
史 興 宝

はじめまして、八月から愛隣館の方で研修をさせて頂いていただきます私、史興宝と申します。

八月は本館の三号館、九月はテイクア、十月は愛隣倶楽部で一ヶ月研修をさせて頂きました。十一月はケアホームぴあハウスで研修しています。十二月は本館という流れで研修をさせて頂いていただくようになります。

愛隣グループで研修をさせて頂いた前回は、まったく福祉と関係のない仕事をしていました。最初は不安な気持ちを沢山抱えていましたが利用者や職員の方はとても優しく、本当に心から嬉しく思います。これからよろしくお願ひします。

月見の宴

ケア課 池松 知京

中秋の名月を迎えた九月十三日（金）、愛隣館食堂に於いて月見の宴が開催されました。

入居者・利用者・職員・法人役員、選者の有働様、河野様に加え第三者委員の山西ふじ子様をお迎えし、短歌や俳句の発表を行いました。

応募総数は前年度よりやや少ない百二十四作品でしたが、素晴らしい作品ばかりでした。

応募作品の披露の後には、私達月見の宴担当職員によるカラオケで会場を盛り上げました。

アトラクション終了後、短歌、俳句の入選作品の発表・表彰が行われ、第三者委員・山西様、栗川様をはじめ地域特別賞として多くの賞がありました。最後に、選者の河野様、有働様より講評がありました。

月見の宴の準備等大変でしたが、皆様のご協力のもと、楽しく終わることができて良かったと思います。



令和元年度 月見の宴入選作品

短歌「月の部」

- 一席 満面の 笑みにあふるる 母と子の 心の対話 月もほほえむ 山口 博美
- 二席 動かない 体持ち上げ 車椅子 リフトにゆられ 月かげうつく 井上 貴文
- 三席 在りし日の 母と作った 月見団子(だご) いびつなかたちに 笑ったあの日 小川ハツ子

短歌「雑詠の部」

- 一席 独り住む 母の強がり 心配す 南阿蘇村 遠き故郷(ふるさと) 後藤 雅子
- 二席 閉校の 学び舎に咲く 梅の花 友らと集い 思い出探し 米崎みどり
- 三席 できるなら さすつてやりたい 母の背を たったひとつの私の願ひ 山口 さとみ

俳句「月の部」

- 一席 名月に 元気であれと 手をあわす 小川 ハツ子
- 二席 どこまでも ついてくる月 散歩道 池田 良子
- 三席 月明かり あなたと歩む 手をにぎり 吉本 やす代

俳句「雑詠の部」

- 一席 亡き父(ひと)を 迎えて紅(あか)き 彼岸花 岩下 カ

二席 ふる里の 笑顔揃うや 夏座敷

福島 好美

三席 天高し せみの音遠く 聞こえけり

丸山 光子

三浦牧子名誉理事長賞

おつき様 届けて欲しい この言葉

『元気になったよ ありがとう』

森下 睦子

新たなる 令和の空を 見上げては

幸多かれと 月見て祈る

富田 正美

好物の 手作り甘酒 仏壇へ

ほほえむ母に 想いを寄せる

坂田 照美

人の世は いつしか別れが あるものと

思えば悲し くちなしの花

岩下 カ

月清か ひさかたぶりに 空をみる

増田 正代

月明かり あなたと歩む 手をにぎり

吉本 やす代

こまでも ついてくる月 散歩道

池田 良子

秋の夜 淋しい空に 月一つ

富田 正美

楽しみね 早くこいこい 千葉行く日

杉焼 春奈

友去りし 想いで大事に ピンで留め

坂田 照美

台風で 花火上がらず 涙こぼれる

かつば太郎

理事長賞

そよ風に 吹かれて歩む 夕暮れに

紅く染まるよ 君の笑顔が

吉本 やす代

閉校の 学び舎に咲く 梅の花

友らと集い 思い出探し

米崎 みどり

庭のすみ ひとりっきりの 月見草

猪股 敦

ふる里の 笑顔揃うや 夏座敷

福島 好美

館長賞

独り住む 母の強がり 心配す

南阿蘇村 遠き故郷(ふるさと)

後藤 雅子

愛隣荘賞

月の舟 2人で乗りたい 好きな人

山下 四季子

ふる里の 笑顔揃うや 夏座敷

福島 好美

在りし日の 母と作った 月見団子(だご)

いびつなかたちに 笑ったあの日

小川 ハツ子

できるなら さすってやりたい 母の背を

たったひとつの私の願い

山口 さとみ

城北高等学校 竹原校長賞

満面の 笑みにあふるる 母と子の

心の対話 月もほほえむ

山口 博美

この月に かけてみせよう 我が命

もみじ(西村)

第三者委員 栗川賞

転所の日 千歳の友に 見送られ

第二の人生 父と旅立つ

柿内 葉子

亡き父(ひと)を 迎えて紅(あか)き 彼岸花

岩下 力

明治学院大学 平野賞

月みえぬ なれない部屋に 一人きり

父母を思う 長い夜

元村 文美子

月灯り 優しく照らし 見守る未来

後藤 雅子

三菱総合研究所 高森賞

転所の日 千歳の友に 見送られ

第二の人生 父と旅立つ

柿内 葉子

ふる里の 笑顔揃うや 夏座敷

福島 好美

山鹿燈心会 代表世話人 三浦賞

若き日に わかれた夫(つま)と 会うた日に

お互いどなたと 首かしぐ

おてもやん(中村京子)

あかね雲 追いかけたどる あぜの道

母の背中と 兄の引く手と

猪股 敦

在りし日の 母と作った 月見団子(だご)

いびつなかたちに 笑ったあの日

小川 ハツ子

木蓮の 白き花びら 青い茎(がく)

池田 良子

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された
広報チーム、キャリアポジションが担っています。

施設親善オセロ大会

デイケア 坂本 美由紀

十月三日（木）、天草市民体育館で行われた施設親善オセロ大会に、入居、デイケア、愛隣倶楽部での予選を勝ち抜いた五名の代表者と、スタッフ五名で参加して参りました。

秋号 令和元年（2019年）

参加された皆さんは、日頃からオセロの練習を頑張っておられました。が、いざオセロ盤を目の前にすると、緊張されている様子や、意気込みが感じられ、私たちにも緊張感が伝わるような熱戦でした。五位という素晴らしい結果で、皆さん生き生きと楽しんでいる姿が印象的でした。



デイケア代表の吉本さんは、全参加者の中で最多コマ数賞を受賞され、チームにとっても嬉しいニュースとなり、早速、来年に向けて練習が開始されているようです。来年の戦いにも期待したいです。

城北高校

JRC（青少年赤十字）活動

九月二十四日（火）城北高等学校の皆さん（医療

福祉課・特進科二年三十三名、引率教職員一名）が、社会奉仕活動の一環として清掃活動・交流ボランティアに来館して下さいました。

はじめに食堂で、田中統括部長より施設の概要説明がありました。

オリエンテーションの後は、各号館の窓ふきや玄関の清掃を、日ごろ職員が手の届かないところまで丁寧にしてくれました。

交流会では、三班に分かれてオセロ、ポッチャ、シャフルボードゲームにて入居者と交流。最初は緊張した面持ちで言葉数が少なかった高校生も、次第に表情が和らぎ笑顔が多くみられました。



最後に、歌の披露や入居者との握手、代表生徒の挨拶がありました。

城北高校の皆さん、ありがとうございました。

くまもと車イスふれあいジョギング大会

九月二十八日（土）、菊陽町にて、「くまもと車イスふれあいジョギング大会」が開催されました。愛隣館からは、永田（勝）さん、前田さん、河津さん、

野尻さん、福原さん、田中（正）さん、中本さんが出場されました。

天気も良く暑い中、ボランティアの学生とのふれあいの時間を楽しめました。

ジョギングの後は、「玄海竜二トークショー」で笑い、毎年恒例の抽選会では、野尻さんがトレーナー、河津さん、福原さんが商品券を引き当て盛り上がりました。

飾り馬訪問

秋晴れとなった九月八日（日）、愛隣の家広場に

藤崎八幡宮秋季例大祭（馬追い祭り）の奉納団体武蔵連合会の皆さんが訪問に来て下さいました。

連合会の皆さんは広場を鐘、太鼓、ラッパで囃し立てられ本番さながらの掛け声で、勇壮



な馬追いを披露されました。

独特のリズムに自然と体を動かす方や、あまりの迫力に驚きつつも祭りの雰囲気を楽しむ利用者、と様々でした。

武蔵連合会の皆さんは、その足で「津留井出祭り」を訪問し武蔵囃子を披露。祭りに華を添えて下さいました。ありがとうございました。

第四十二回山鹿・植木合唱祭

ケア課 松本 直子

九月二十三日(月)秋分の日、山鹿市民交流センター・文化ホールで行われた山鹿・植木合唱祭に、利用者十名と職員九名の計十九名で参加しました。

曲名は『わたし
のほしいもの』『フ
ニクリフニクラ』
『鬼のパンツ』の
三曲でした。利用
者の皆さんは毎週
水曜日の午後、音
楽クラブで、一生
懸命練習されてま
した。本番前は緊張
の様子でしたが、
会場の方からの手
拍子や温かい拍手
を頂き、とても喜ばれていました。



最後になりましたが、ご協力頂いた山鹿コールエイトの皆さま心より感謝申し上げます。

墓掃除

愛隣館は、津留の中の下宮(げぐう)部落にあります。年数回、地元行事に参加していますが、今回は『墓掃除』についてご紹介したいと思います。男性は主に区役(くやく)に参加して刈払機などを用い溝の草刈りを行います。一方女性は、地元にある墓地(数か所)の清掃を担います。

九月十四日は、お彼岸を前に墓地と公民館の一斉清掃でした。午前八時、私は坂本地区が担当する墓地へ。権現山の道なき道を進み、猪対策の電線をまたいで作業を始めました。誰もお参りに来ないお墓(無縁仏)を竹ぼうきと草取り鎌を使いきれいにしました。最後は公民館に集合して清掃・解散。



これまで大きな災害に遭つことなく過ごしている法人愛隣館は、いつも雄大な権現山によって見守られ、それを支える地域住民の方々のご先祖様のおかげだと感謝した一日でした。 梅崎 美智子

熊本市動植物園日帰り旅行

十月十七日(木)入居の石井さん、高木さん、中本さん、南さんと職員四名で熊本市動植物園に日帰

り旅行に行きました。

当日は暑過ぎないお散歩日和で、三十種類を超える動物ゾーンの殆どを観て回りました。

皆さん、普段見ることのない動物やお気に入りの動物を眺め喜ばれていました。南さん

は、カバに夢中で、タイミングよくお食事タイムを見ることができました。アフリカ象は迫力があり入居者・職員とも見惚れてしまいました。

昼食を、ゆめタウン浜線にて、各々が好きな物を食べ、ゆつくりと過ごした一日でした。



10月8日~20日熊本県立美術館本館
アール・ブリュット展覧会 観覧風景(上)
【アール・ブリュット移動美術館】
11.9(土)~14サニーサイド(アトリエ SUN)
11.16(土)~12.8(日)北九州市八幡・Operation Table
12.4(水)~9(月)第二つつじヶ丘学園(ギャラリー小手毬)